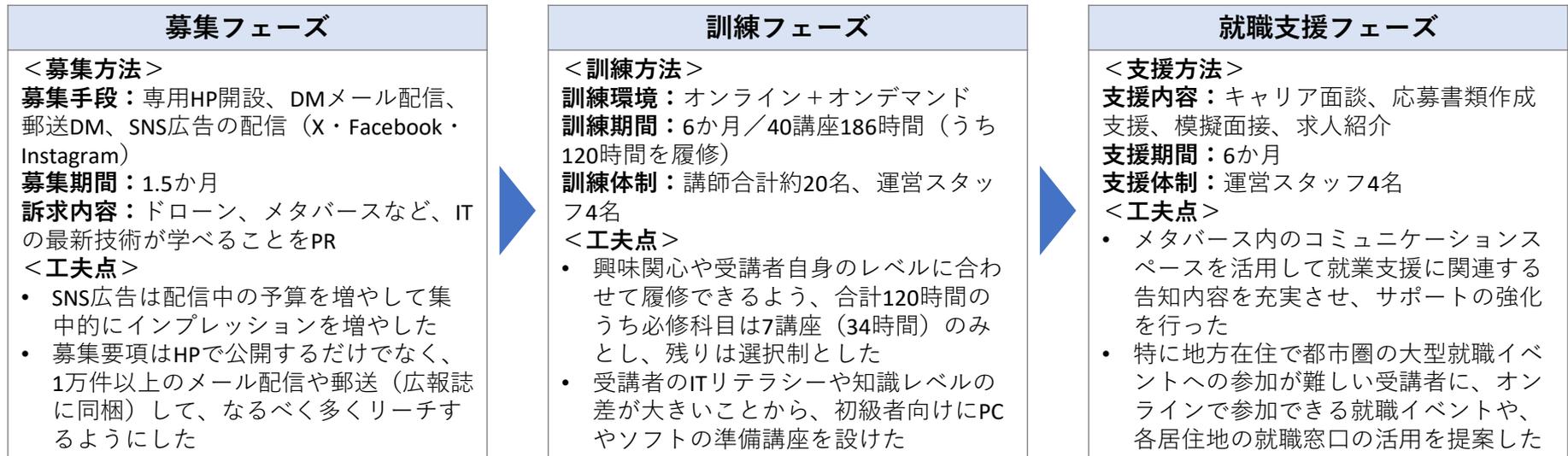


〈訓練パッケージの全体像〉

受講対象者の属性		非正規労働者（ひきこもりの状態、仕事・社会参加への意欲が低い層も含む）
受講対象者が直面している課題		身体的・精神的・環境的な制約などの背景を持つ者や、また、社会参加への意欲が低い者もいて、ビジネスやコミュニケーションのスキルが十分に習得できておらず、キャリアアップが困難な者も含む。
訓練概要		「次世代IT技術マスター」として開講し、「メタバース」「AI」「ドローン」の3分野を中心として、ITリテラシー及び次世代の中心技術の知識、コミュニケーションスキルの獲得を目指す。修了者の仕上がり像は、「正規雇用・社会参加への意欲向上」。
訓練の新規性	既存訓練の課題	ソフトウェアとハードウェアの両方の要素を組み合わせるとIoTまで網羅的にカバーしていたり、ドローン実習やメタバース活用などを積極的に取り入れている、IT分野の訓練講座はあまり見られない。
	本訓練での試み	資格取得に向けた準備としても活用できるドローン実習を用意し、ソフトウェアとハードウェアというITの基本を網羅した内容として、幅広い応用にも対応した実践的な人材育成を目指した。また、実施形式として、メタバースを講義・実習提供および就業フォローアップのプラットフォームとして活用した。
カリキュラム		<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション（1h） ITビジネスセミナー（3h） クラウド入門/AI人工知能入門（6h） プログラミング基本講座（6h） ドローン基本講座（3h） VR/CG基本講座 応用編：人工知能演習（6h） ドローン実習（3h） 他 186時間（40講座）

〈訓練パッケージの流れ〉



〈試行結果〉

試行時期	2024年6月～11月	試行エリア	全国（オンライン）
受講者数等	受講者数：41名（当初の目標定員：30名）、修了者数：28名		
就職状況	就業者数合計：6名（正規就職：1名／業務委託：2名／非正規・パートタイム等：3名）		

結果に対する評価

41名が受講し、基準（120時間のうち7割履修／試験得点率8割）をクリアした28名が修了しており、修了者数は定員30名に対してあと一步となったものの、手厚いフォローにより概ね目標達成に近づけることができた。就業者数に関しては、当初の計画で就職率目標を「正規雇用：70%」と設定していたが、目標には大きく及ばない結果となっており、これについては、受講者の学習意欲の高さが、必ずしも就業意欲に直結していないという傾向が生じた結果であると考えられる。

効果が得られた施策とその要因

- **【募集】** SNS広告やHPへの情報掲載を実施。受講者が検索してページにアクセスしたり、ブラウザやデバイスのアプリに表示されるSNS広告に接触したケースが多く、オンラインでの情報拡散が効果的であったと考えられる。
- **【訓練】** メタバース活用場面を増やすことで、遠隔でのコミュニケーションの内容をより充実・強化し、学習内容の理解を深められた。また、選択制講座で、受講者の関心や都合に合わせ。ドローンなども含むバラエティに富んだ課題を学習できる体制にしたことで、修了者を増やすことにつながり、受講者の意欲やチャレンジが感じられる結果ともなった。
- **【就職支援】** メタバースの活用により、単に就職に有益な情報を告知するスペースというだけでなく、受講者がメタバースに入って確認することで自主的な就職活動の意識づけにつながっている効果もうかがえた。

〈今後の訓練手法活用に向けて〉

今後の課題及び改善策

【訓練における課題・改善策】

- オンライン開催で受講はしやすくなったものの、コミュニケーションが希薄となる点については、ひとりひとりをフォローすることで最後まで伴走することは難しいが、受講者のモチベーション維持のためにメタバースを活用してコミュニティを作るなどの工夫を行う

【就業対策における課題・改善策】

- 継続的な呼びかけにもかかわらず面談や就業説明会などへの参加者が少なかったため、メタバースを活用してこれらに参加する講座を組み込んで、「メタバースに入室してコメントを10件残す」「就職説明会への参加レポートを提出を行う」など必修単位の課題を設定して、就業への意識づけを強化する